

2024年3月

カラスビシャク種

Pinellia

(*Pinellia ternata* (Thunb.) Makino)

カラスビシャク種審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、サトイモ科 (Araceae) ハンゲ属 (*Pinellia* Ten.) のカラスビシャク種 (*P. ternata* (Thunb.) Makino) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 球茎 (球茎のサイズの目安は径 1cm 以上 2cm 未満)
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 50 個
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 30 個体
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期等 特に指示がない限り、開花時に調査する。
葉に関する形質は、最大葉を調査する。
珠芽及び球茎に関する形質は、開花後、地上部が黄変・枯凋した頃に調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準1%、受容確率95%を適用し、UPOVのTGP 8 文書の8.1.10節の図表 5 により判定する。供試個体数が30の場合、許容される異型個体数は1である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 頂小葉の長さ／幅 (形質 5)
- ii) 小葉基部の珠芽着生の有無 (形質 7)
- iii) 仏炎苞の外面の主な色 (形質 13)
- iv) 仏炎苞の周縁部の色 (形質 14)
- v) 球茎の大きさ (形質 15)
- vi) 球茎の重さ (形質 16)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

- G : グループ分けに使用する形質
- QL : 質的形質
- QN : 量的形質
- PQ : 擬似の質的形質
- (+) : VIIIに特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QN (+)	草丈	Plant: height	地際から最頂部までの高さ (立てて測定)	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	伊豆在来種	
2		QN (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	伊豆在来種	
3		QN	頂小葉の長さ	Terminal leaflet: length	頂小葉の長さ	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	伊豆在来種	
4		QN	頂小葉の幅	Terminal leaflet: width	頂小葉の最大幅	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	伊豆在来種	
5		QN G	頂小葉の長さ／幅	Terminal leaflet: ratio length/width	頂小葉の長さ／幅の比	測定 比 MS	3 5 7	小 中 大	small medium large		
6		QN (+)	頂小葉の最大幅の位置	Terminal leaflet: position of broadest part	頂小葉の最大幅の位置	観察 VG	1 2	中央部 基部	middle part basal part		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7		QL (+) G	小葉基部の珠芽着生の有無	Leaflet: propagule of base	小葉基部の珠芽着生の有無(原基や痕跡があっても膨らまなければ無とする)	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
8		QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	最長の葉柄の地際から葉身着生部までの長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	伊豆在来種	
9		QL (+)	葉柄基部のアントシアニン着色の有無	Petiole: anthocyanin coloration of base	葉柄基部のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
10		QN	葉柄基部の珠芽の大きさ	Petiole: size of propagule of base	葉柄の基部に着生する珠芽の長径×短径	測定 mm ² MS	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	伊豆在来種	
11		QN (+)	花茎の長さ	Peduncle: length	最長の花茎の地際から仏炎苞基部までの長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	伊豆在来種	
12		QN (+)	仏炎苞の長さ	Spathe: length	最長の仏炎苞の長さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	伊豆在来種	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13		PQ G	仏炎苞の外面の 主な色	Spathe: main color of outer side	仏炎苞の外面の主な色	観察 VG	1 2	緑 紫	green purple		
14		PQ (+) G	仏炎苞の周縁部の 色	Spathe: color of margin	仏炎苞の周縁部の色	観察 VG	1 2	緑 紫	green purple		
15		QN G	球茎の大きさ	Corm: size	球茎の長径×短径（木子 （子球）を除き、表皮は剥 がない）	測定 mm ² MS	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	伊豆在来種	
16		QN G	球茎の重さ	Corm: weight	収穫後、室内で2～3日乾 燥後の1個当たりの球茎 の重さ（木子（子球）を除 き、表皮は剥がない）	測定 g MS	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	伊豆在来種	
17		QN	球茎の肥大率	Corm: ratio weight in harvesting-time/ weight in planting-time	収穫時の球茎の重さ／定 植時の球茎の重さの比 （木子（子球）を除き、表 皮は剥がない）	測定 比 MS	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large		
18		QL (+)	球茎の着色の有 無	Corm: coloration	球茎表皮の着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19		QN	木子の数	Corm: number of cormels	1株当たりの木子(子球)の数	測定MS	1	極少	very few	北薬試名寄系 伊豆在来種	
							2	少	few		
							3	中	medium		
							4	多	many		
							5	極多	very many		

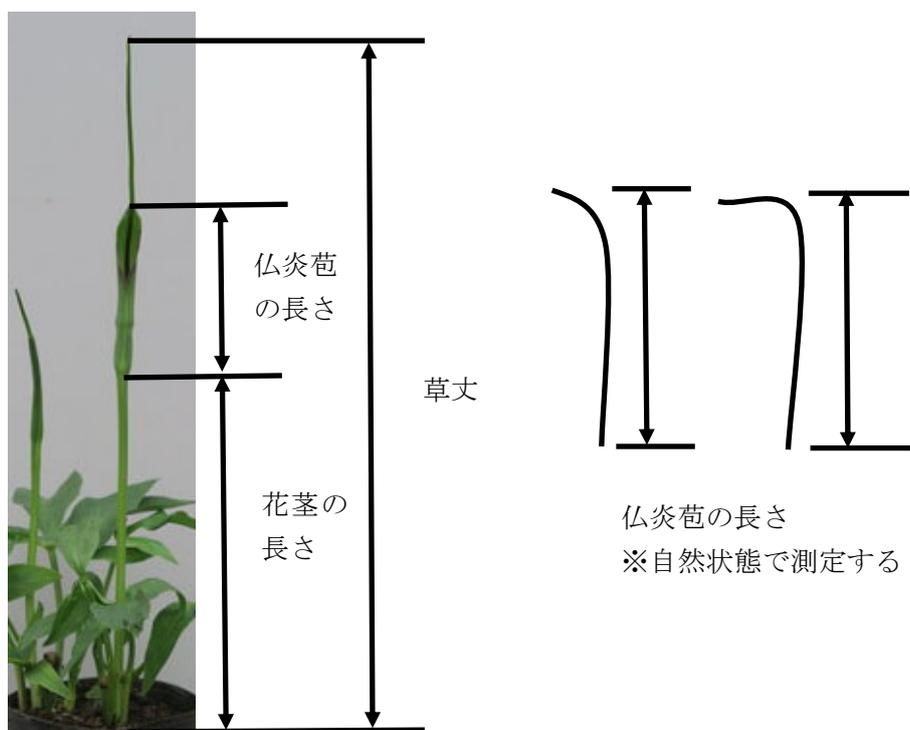
注) 標準品種「伊豆在来種」及び「北薬試名寄系」の入手先は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター北海道研究部

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 草丈 Char.1 Plant: height

形質 11 花茎の長さ Char.11 Peduncle: length

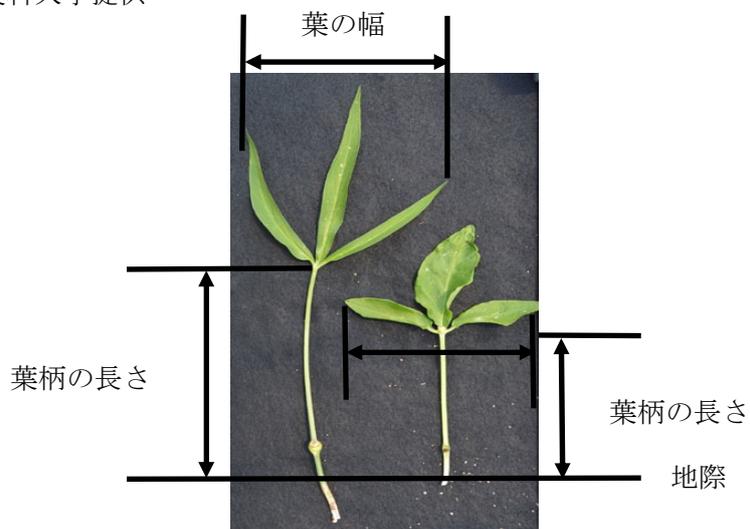
形質 12 仏炎苞の長さ Char.12 Spathe: length



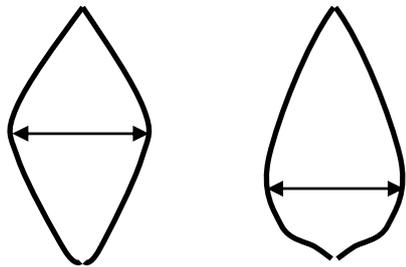
形質 2 葉の幅 Char.2 Leaf: width

形質 8 葉柄の長さ Char.8 Petiole: length

※写真：大阪薬科大学提供



形質 6 頂小葉の最大幅の位置 Char.6 Terminal leaflet: position of broadest part



01 中央部
middle part

02 基部
basal part

形質 7 小葉基部の珠芽着生の有無 Char.7 Leaflet: propagule of base
※写真：大阪薬科大学提供



01 無
absent

09 有
present

形質 9 葉柄基部のアントシアニン着色の有無
Char.9 Petiole: anthocyanin coloration of base



09 有 present

形質 14 仏炎苞の周縁部の色

Char.14 Spathe: color of margin



01 緑 green



02 紫 purple

形質 18 球茎の着色の有無

Char.18 Corm: coloration

※写真：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター提供



01 無 absent



09 有 present